

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	北海道支部	(2)記載者氏名:	井後 幸太郎	会員番号:	8870	事務局整理記入欄	北海道 - 147
分水嶺区分:	308西～H192～300m地点	(3)山行日:	2005年	3月	28日	(4)天候:	晴:積雪 2m

(5)参加者氏名および会員番号

井後 幸太郎	8870
米村 清一	10314
西野 数之	11515
計	
3名	

サポート要員氏名および会員番号

畠山 迪子	12850
藤内 英夫	11883
計	
2名	

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	308西～H192・336.2峰下～263南												
アプローチ:	札幌～八雲～上八雲 (往復)												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	サッカルベツ川C1	上八雲	140	8	54.8	42	19	11.7	85	5:40	8:00	B-4	8, 9
分水嶺到達点	308西	八束	140	7	2.7	42	20	38.3	300				
	送電線十字路	八束	140	5	47.8	42	20	32.5	250	9:30	B-4	8	
H192	336.2峰下	八束	140	5	8.1	42	20	5.1	300	11:00	B-4	8, 9	
	送電鉄塔(北)下	後志日進	140	5	44.0	42	19	5.4	260	12:37	B-4	8	
分水嶺離別点	前回赤布地点	後志日進	140	5	54.1	42	19	2.5	300	13:15	B-4	10	
歩行終了点	サッカルベツ川C1	上八雲	140	8	54.8	42	19	11.7	85	16:18		10	
総歩行時間(休憩時間を除く):												9時間00分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H191	336.2				積雪の為確認出来ず。

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

サッカルベツ川沿いには除雪なし。500m進入し第1の橋でキャンプ設営。 上八雲から今金へ送電線が南北に走るのでそれ沿いに行動。

(9)水および植生に関連した特記事項

分水嶺への登りは広々とした牧場。見晴らしよし。 336.2峰は堂々とした山塊、南面は雪庇が崩れ、家屋ほどの雪塊がゴロゴロあり。風倒木も多数あり。

(10)その他の特記事項

最後の地点からサッカルベツ川方面に林道(地図にない)あり。これを利用してスキー滑降するも大きく迂回しているので、 上流からサッカルベツ川に滑降。苦勞して旧林道沿いに下るが頼みの橋は全く痕跡なくスキーを脱いで渡渉する。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: